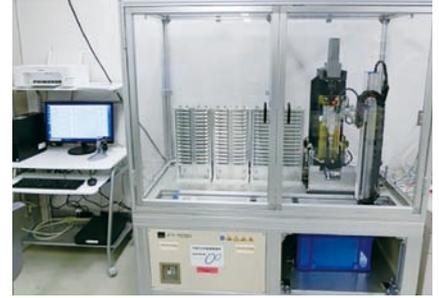


自動三点曲げ試験機

自動三点曲げ試験機は、プラスチックの三点曲げ試験における試験片の交換作業および支点間距離の調整を、自動で行う装置です。

近年、金属代替材料としてプラスチック材料を繊維で補強した繊維強化プラスチックが普及しています。このような状況の中、プラスチックや繊維強化プラスチックの三点曲げ試験の依頼試験を、短納期で行うために導入しました。

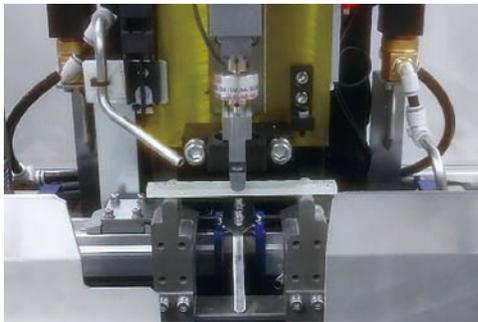
※本装置は公益財団法人 JKA 補助事業による補助を受けて設備導入しています。



自動三点曲げ試験機の外観

装置の特徴

プラスチックおよび繊維強化プラスチックの三点曲げ試験は、標準試験片と呼ばれる(例として、80 mm × 10 mm × 4 mm など)定式形状の試験片を用いるのが一般的であり、複数のメーカーから試験装置が販売されています。一方、今回導入した装置は、標準的な定式形状ではない試験片に対応できるように、試験ごとに試験速度や支点間距離を設定する仕様となっています。また、さまざまな形状の試験片に対して、自動で曲げ試験を行うことができる装置です。なお、いびつ形状の試験片に対応できませんが、自動で大きさや形状を測定する機能は付いていません。



試験の様子

活用事例

三点曲げ試験

本装置では、原則としては三点曲げ試験を実施することになります。異なるサイズの試験片に対して、試験を行うことが可能であり、最大で45本の試験片をストックすることができます。試験条件に依存しますが、およそ半日程度で試験が完了しますので、一日で最大90本の試験が可能となります。



試験片のストック機能(最大で45本)

SPEC & PRICE

主な仕様

項目	仕様
型式	FT-7030(株式会社上島製作所)
ロードセル荷重	2 kN
支点間距離範囲	40 ~ 128 mm
試験速度	1、2、5 mm/min

料金表

試験料金	中小企業	一般
非金属材料の静的強度試験 (1) 一般的なもの (ロ. プラスチック材料の三点曲げ試験) [1 試験片につき]	¥2,490	¥2,490

その他、ご不明な点など遠慮なくお問い合わせください。

お問い合わせ | 表面・化学技術グループ(本部) | TEL 03-5530-2630